



コラム



2003年1月15日、厚生労働省、日本骨髄腫患者の会、(財)「いしずえ」(サリドマイド被害者の会)、薬害オンブズパーソン会議など、サリドマイドの関係者を招いて、「医薬品サリドマイドを考えるシンポジウム」(日本医薬品情報学会主催)が都内で開催された。適正使用のルールづくりのための提言が相次ぎ、医薬品としての承認を得るために必要な臨床試験の方向性などが示唆された。いしずえからは、増山ゆかりさん(写真右)と間宮清さんが出席し、「サリドマイドには現在の医療の問題が集約されている。薬禍を二度と起こしてはならない」と訴えた。